

地域助産学実習

単位数：6単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
松浦 志保：臨床看護学講座講師

1. 科目の教育方針

地域母子保健活動について多角的な視点から総合的に理解し、母子保健事業と医療・福祉との連携・協働の実際を理解する。また、助産所での妊産褥婦および新生児・乳児への助産実践を通し、妊娠期から子育て期における助産実践力の強化を図ると共に助産所の管理運営を実践的に学ぶ。地域母子保健活動における助産師の役割・働き方について考察する。

2. 教育目標

- 1) 地域における子育て世代を包括的かつ継続的に支援する能力の充実を図る。
- 2) 地域母子保健システムにおける助産師の役割について考察し、多職種間の連携・協働について学ぶ。
- 3) 助産所での妊産褥婦および新生児・乳児への助産実践を通し、妊娠期から子育て期における助産診断力・実践力の強化を図る。
- 4) 助産所の管理運営を実践的に学ぶ。

3. 教育の方法、進め方、評価等

1) 実習施設

出雲市
雲南市
松江市
目白バースハウス
助産所ドゥーラえむあい

2) 実習時期

1年次後期

3) 実習内容

【地域事業所】

母子関係の事業（新生児訪問および乳幼児訪問、赤ちゃんのお世話教室、他）

【助産所】

- ・妊娠期から産褥期までの助産ケア
- ・産後ケア
- ・助産管理業務

【評価】

実習目標に沿って以下の内容から総合的に評価する

実習記録、実習への取り組み姿勢、妊産褥期の評価表、カンファレンス参加状況、
実習レポート